アクセントウォール

ラコア

施工説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ　施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認お願いします。

ご注意　ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工前のご注意・お願い

- 壁材として使用する場合
  ステープル（肩幅4mm以上、長さ38mm以上）と変成シリコン系接着剤を併用し施工を行なってください。
  天井材として使用する場合
  ステープル（肩幅4mm以上、長さ38mm以上）と酢酸ビニル樹脂系接着剤を併用し施工を行なってください。
- 施工はクロス貼り前に行なってください。
- 屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでくだい。
- 本製品は、環境・湿度の影響を受けにくくするため、防湿梱包をしています。開梱は施工直前に行い開梱後は速やかに施工してください。
- 本製品設置面に棚板・カウンターなどを取り付ける場合は、あらかじめ各部材の施工条件に従い下地補強を充分に行なった上で、本製品の施工を行なってください。
- 見切材（別売）や市販の巾木などを使用する場合は、本製品との取り合わせを充分考慮し施工を行ってください。
- 内装制限を受ける場合には施工できません。不燃・準不燃・難燃には適合していません。
- 一般木造住宅向けの内装材です。RC造への施工は避けてください。

施工上のご注意

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。
屋外禁止

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。
キズ注意

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。
火気厳禁

粘着テープ（セロハンテープ・シール等）を化粧面に貼らないでください。
テープ禁止

表面に付着した接着剤はすぐに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。
接着剤注意

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。
溶剤厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で通直な物を選んでご使用ください。
反り・ねじれ厳禁

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この製品は以下の内容で自主表示登録しています。

発散等級区分：F☆☆☆☆

製品名：アクセントウォール ラコア

ご注意　この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先：品質管理チーム　087-894-8025

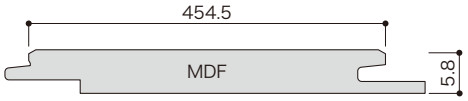
(一社)日本建材・住宅設備産業協会表示登録	
発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K−003162
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	製品裏面に表示
問合わせ先	https://www.kensankyo.org/

製品図面

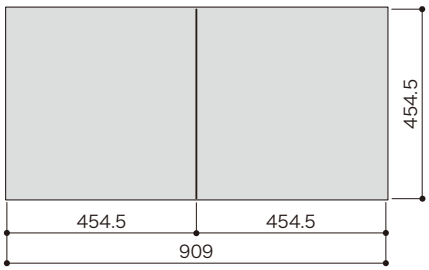
寸法単位:mm

ラコア

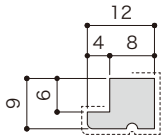
［断面図］



［上面図］



見切材



壁材として使用する場合と、天井材として使用する場合で施工方法が異なります。
該当するページをご確認のうえ、施工してください。

壁材として使用する場合 ： 2ページ ～

天井材として使用する場合 ： 6ページ へ

施工手順 壁材として使用する場合

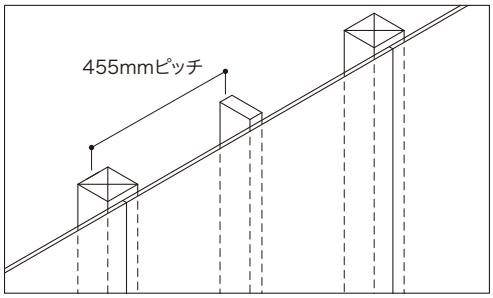
寸法単位:mm

1 下地の準備と作成

柱・間柱などを455mmピッチで設置し、9.5mm以上の石膏ボード、もしくは9mm以上の合板を張って壁下地を作ってください。

ご注意

- ●下地に不陸があると、接着強度に影響しますので、不陸ができないようご注意ください。
- ●下地の突起・くぼみ、表面のゴミや埃は取り除いてください。
- ●捨て張り石膏ボードや合板の目地と、仕上げ材の目地が重ならないように割り付けてください。



2 割り付け・墨出し

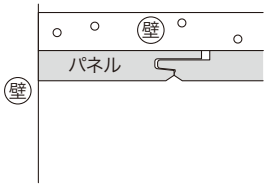
1 割り付け

パネルの長辺方向と、柱・間柱が直行するように割り付けてください。
本製品はメスサネ打ち仕様です。張り始めの方向にご注意ください。
パネルは定寸のずらし張りに割り付けてください。
センター割り付けを行なうことでバランス良く仕上げることができます。

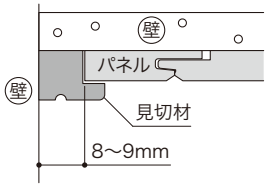
ご注意

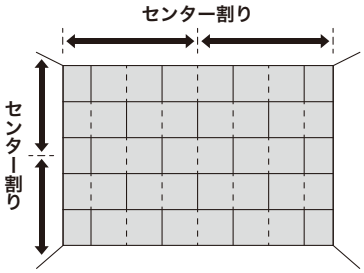
使用する納め材を考慮して、割り付けをご検討ください。

■ 突き付け施工の場合

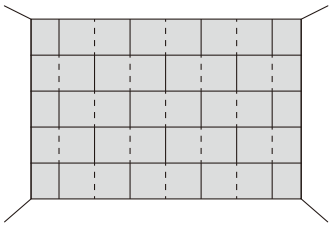


■ 見切材を使用する場合

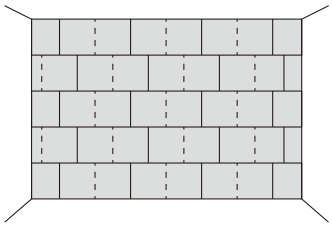




454.5mmずらし張り

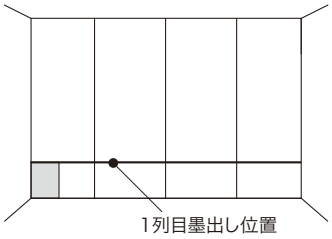


227.25mmずらし張り



2 墨出し

割り付けに従って墨出しを行なってください。



寸法単位:mm

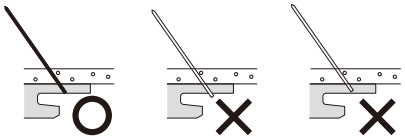
3 パネルの取り付け

●目隙や突き上げの原因となるため、必ずステープルと接着剤を併用し施工してください。
●ステープル以外の釘は、固定強度が弱く、反り（浮き）・目隙などの原因となるため使用しないでください。
●機械打ち機を使用する場合、ステープルの釘頭がメスサネ表面に出ないよう、また、ステープルがサネを貫通しないようエアー圧調整を充分行なった上で施工してください。パネル表面の膨れや、固定強度不足の原因となります。（釘頭が残った場合はポンチを用いてメスサネへ沈めてください。）

ステープルの打ち込み方

釘頭発生防止のため、打ち込みの角度は45～60度が適当です。

釘頭は下図のように打ち込んでください。



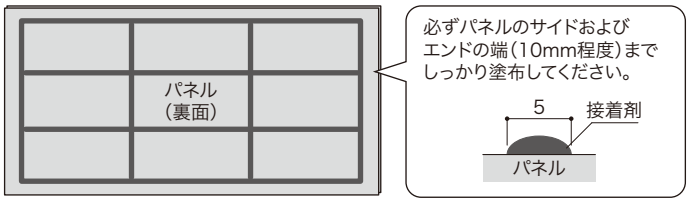
1 パネルのカット

張り始めのパネルを割り付けに従ってカットしてください。

2 接着剤塗布

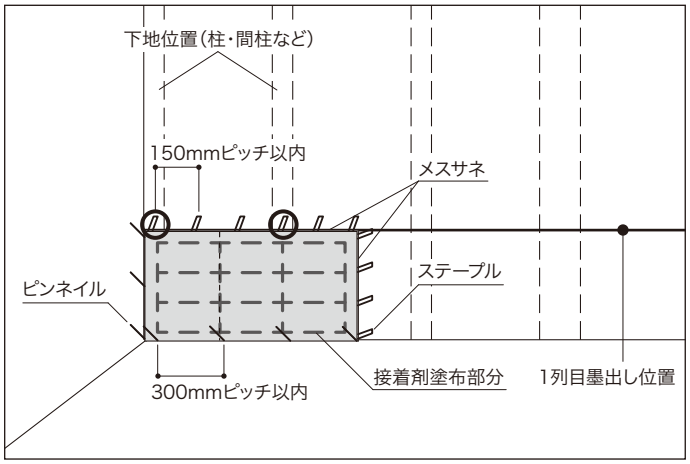
接着剤を右図のようにパネル裏面に塗布してください。

接着剤＝変成シリコン樹脂系接着剤［ノズル穴経…5mm］



3 張り始め

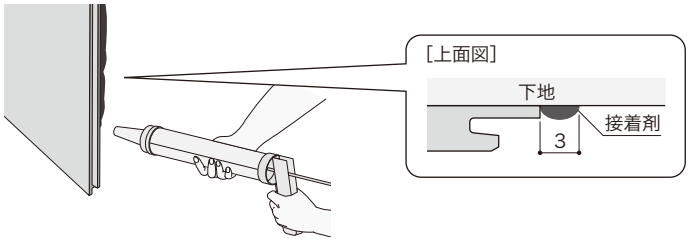
パネルを「1列目墨出し位置」に正確にあわせ、下地位置（柱・間柱など）にステープルを打ち込み固定します。（右図○）
下地（柱・間柱など）がない箇所にも、約150mm間隔でステープルを長辺・短辺メスサネ部に打ち込み固定します。
壁際・床面はピンネイルで300mmピッチ以内の間隔で固定してください。
※見切材で納める場合、見切材で隠れる部分をステープルにて固定してください。



4 2枚目以降の取り付け

1枚目を固定した後、短辺方向メスサネ先端に接着剤を塗布します。

接着剤＝変成シリコン樹脂系接着剤［ノズル穴経…3mm］



施工手順　壁材として使用する場合

寸法単位：mm

前工程と同様にパネルへ接着剤を塗布し、メスサネ部に差し込み、長辺・短辺メスサネ部をステープルにて固定してください。

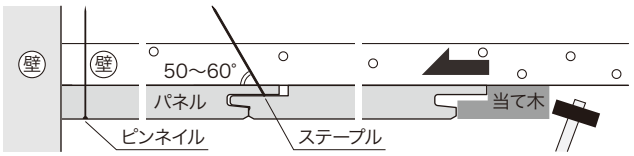
壁際・床面はピンネイルで300mmピッチ以内の間隔で固定してください。

※見切材で納める場合、見切材で隠れる部分をステープルにて固定してください。

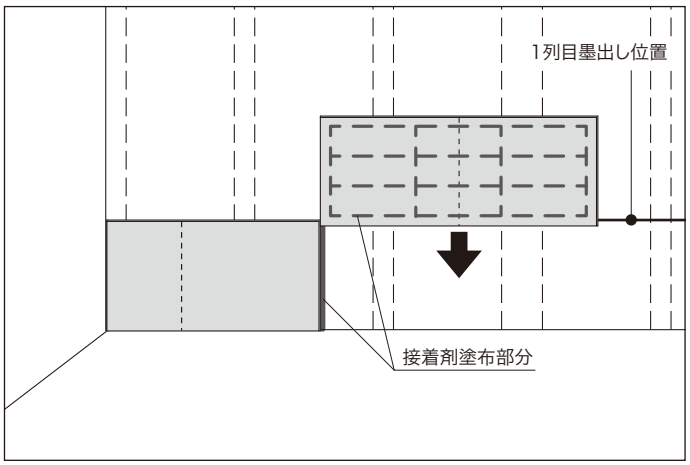
ご注意

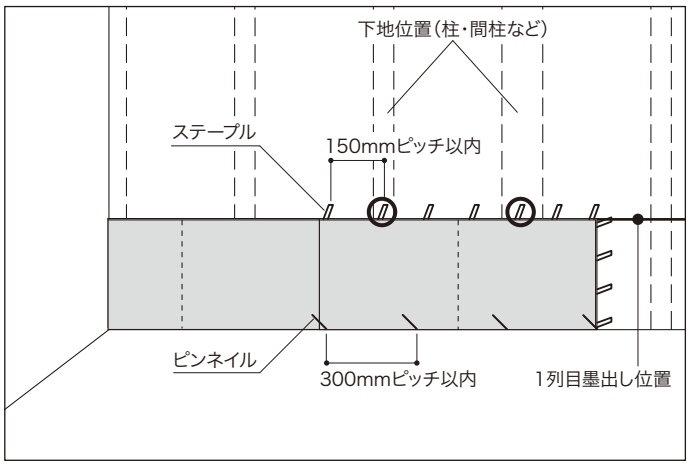
目隙は後に目地ずれの原因になるので、当て木などを使い、しっかりと迎合させてください。
継ぎ目からはみ出した接着剤は、湿った布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

［上面図］



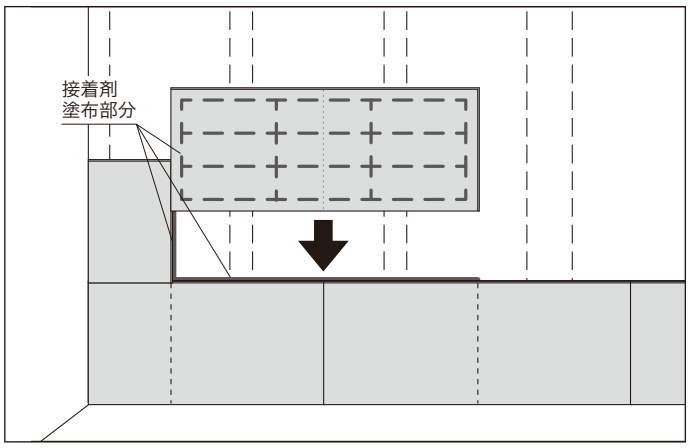
以降、同工程を繰り返し施工を進めていきます。



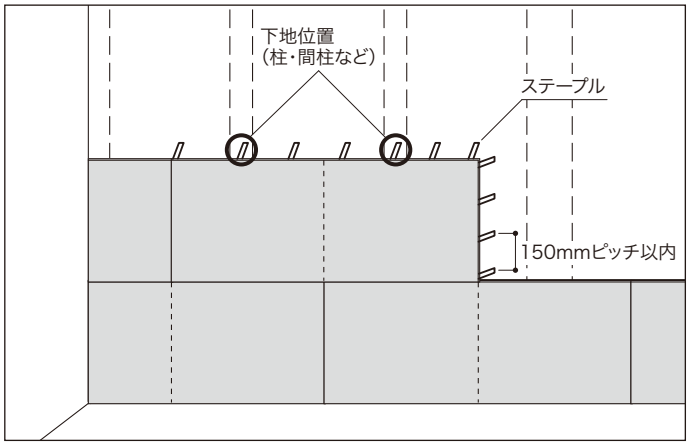


5　2列目以降の取り付け

前工程と同様にパネルへ接着剤を塗布し、すでに施工してある1列目パネルの長辺方向メスサネ部と、2列目1枚目のパネルメスサネ部に差し込みます。



長辺・短辺方向メスサネ部に、ステープルで固定してください。
以降、同工程を繰り返し施工を進めていきます。



寸法単位:mm

6 張り仕舞い

最終列のパネルを割り付けに従ってカットしてください。

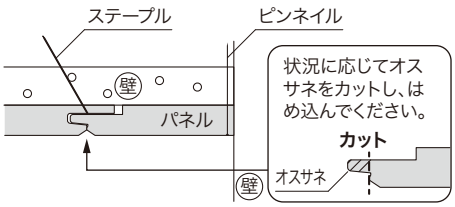
前工程と同様に接着剤を塗布し、すでに施工してあるパネルの長辺方向メスサネ部にパネルオスサネ部を差し込み、壁際はピンネイルで固定してください。同工程で施工を進め、すべてのパネルを施工します。

■ 見切材を使用する場合

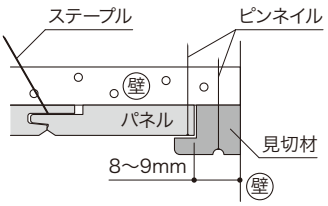
見切材は、接着剤とピンネイルを併用し施工を行なってください。ピンネイルは300mmピッチ以内の間隔で打ち込んでください。
角部・端部の固定はピンネイルが端から20mm以内となるように打ち込んでください。接着剤がはみ出した場合は、湿った布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

壁との納まりについて [上面図]

■ 突き付け施工の場合

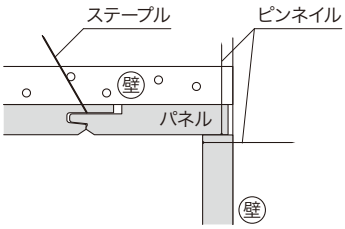


■ 見切材を使用する場合

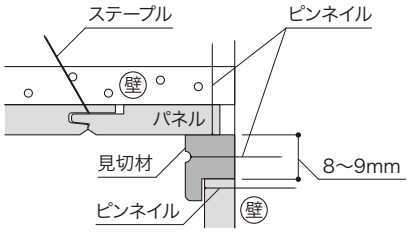


入隅の納まり(例)

■ 突き付け施工の場合

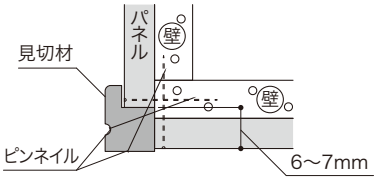


■ 見切材を使用する場合



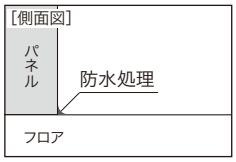
出隅の納まり(例)

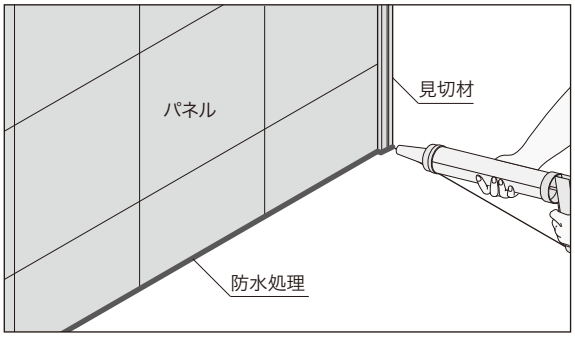
■ 見切材を使用する場合



ご注意

本製品を床面に突き付けて施工する場合、本製品(パネル・見切材)切断面と床面の接合部にシリコン系コーキング材にて防水処理を行なってください。





4 養生・点検

●施工後、24時間以上静置してください。
●化粧面に強い粘着テープを貼らないようにしてください。
●引き渡し前に清掃を行ない、傷や汚れの付着が無いことを確認してください。
●取扱説明書を記載内容に従ってお施主様に説明し、お渡しください。

施工手順　天井材として使用する場合

寸法単位：mm

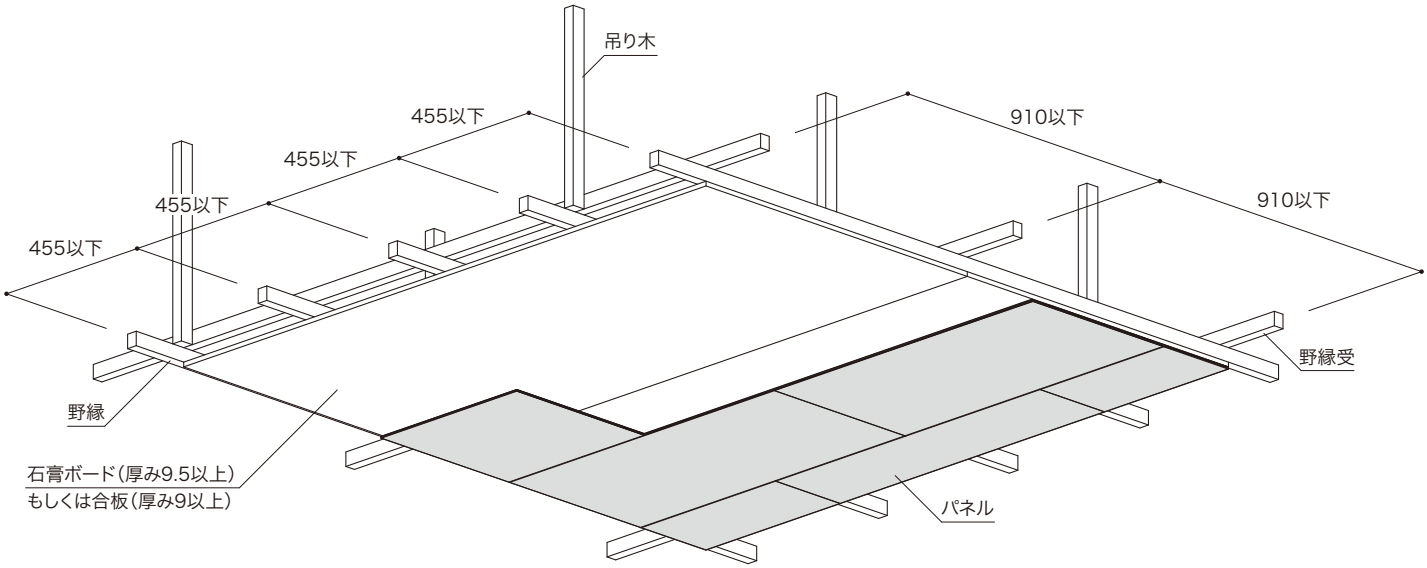
1　下地の確認

吊木は910mmピッチで野縁受は910mmピッチ、野縁を455mmピッチ以内にし、石膏ボード、もしくは合板を捨て張りしてください。

野縁・吊木等に使用する木材は乾燥材で反りやねじれが無いものを選んでご使用ください。
また、石膏ボードもしくは合板と接する面にはプレナーを掛けてください。

ご注意

- ●下地に不陸があると、接着強度に影響しますので、不陸ができないようご注意ください。
- ●下地の突起・くぼみは取り除いてください。
- ●捨て張り石膏ボードや合板の目地と、仕上げ材の目地が重ならないように割り付けてください。



2　割り付け・墨出し

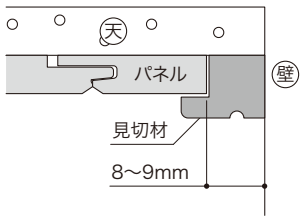
1　割り付け

パネルの長辺方向と、柱・間柱が直行するように割り付けてください。
本製品はメスサネ打ち仕様です。張り始めの方向にご注意ください。
パネルは定寸のずらし張りに割り付けてください。
センター割り付けを行なうことでバランス良く仕上げることができます。

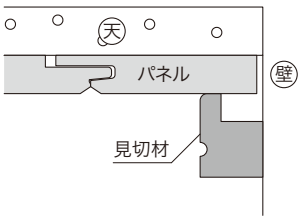
ご注意

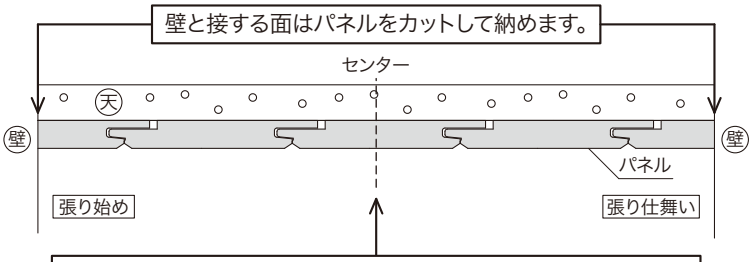
使用する納め材を考慮して、割り付けをご検討ください。

■ 見切材として施工する場合



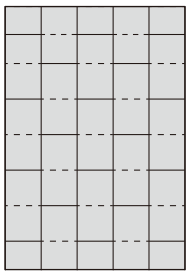
■ 回縁として施工する場合



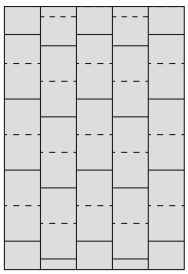


上図のようにセンターを起点として、パネルを割り付けると綺麗に仕上げることができますので、センター割り付けをおすすめします。

454.5mmずらし張り



227.25mmずらし張り



2　墨出し

割り付けに従って墨出しを行なってください。

寸法単位:mm

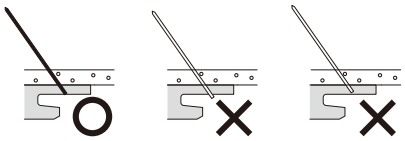
3 パネルの取り付け

●目隙や突き上げの原因となるため、必ずステープルと接着剤を併用し施工してください。
●ステープル以外の釘は、固定強度が弱く、反り（浮き）・目隙などの原因となるため使用しないでください。
●機械打ち機を使用する場合、ステープルの釘頭がメスサネ表面に出ないよう、また、ステープルがサネを貫通しないようエアー圧調整を充分行なった上で施工してください。パネル表面の膨れや、固定強度不足の原因となります。（釘頭が残った場合はポンチを用いてメスサネへ沈めてください。）

ステープルの打ち込み方

釘頭発生防止のため、打ち込みの角度は45～60度が適当です。

釘頭は下図のように打ち込んでください。

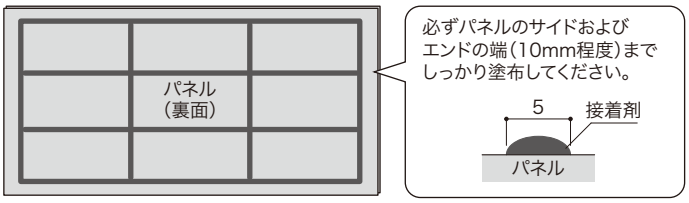


1 パネルのカット

張り始めのパネルを割り付けに従ってカットしてください。

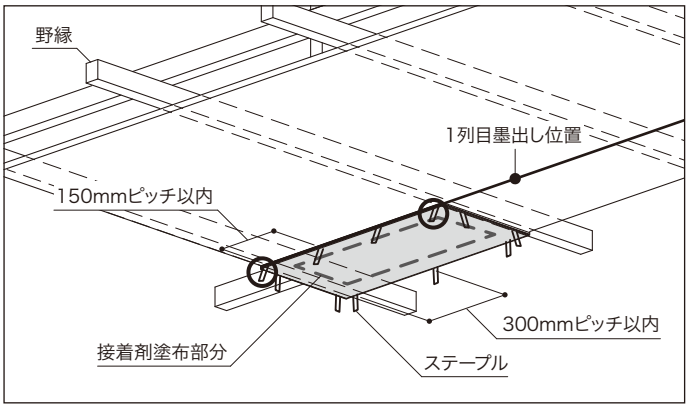
2 接着剤塗布

接着剤をパネル裏面に塗布してください。
接着剤＝酢酸ビニル樹脂系接着剤［ノズル穴経…5mm］



3 張り始め

パネルを「1列目墨出し位置」に正確にあわせ、下地位置（野縁など）にステープルを打ち込み固定します。（右図 ○）
下地（野縁など）がない箇所にも、約150mm間隔でステープルを長辺・短辺メスサネ部に打ち込み固定します。
壁際は見切材で隠れる部分にステープルにて300mmピッチ以内の間隔で固定してください。
※突き付け施工の場合は、フィニッシュネイルにて300mmピッチ以内の間隔で固定してください。



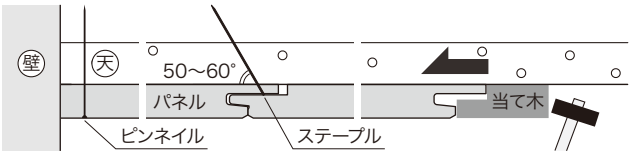
4 2枚目以降の取り付け

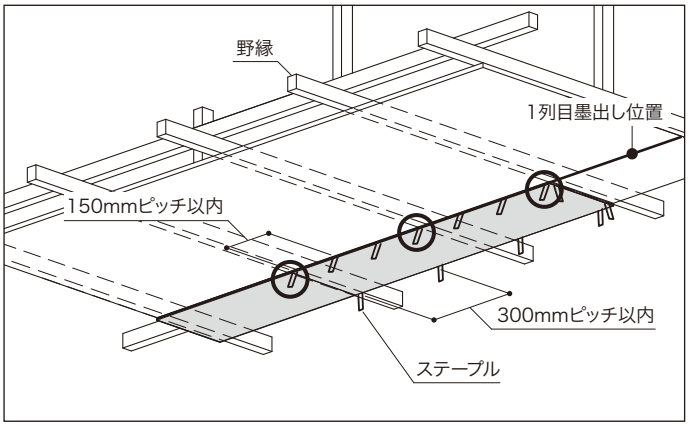
前工程と同様にパネルへ接着剤を塗布し、メスサネ部に差し込み、ステープルにて固定してください。
※突き付け施工の場合は、フィニッシュネイルにて300mm以内の間隔で固定してください。

ご注意

目隙は後に目地ずれの原因になるので、当て木などを使い、しっかりと迎合させてください。
継ぎ目からはみ出した接着剤は、湿った布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

［断面図］





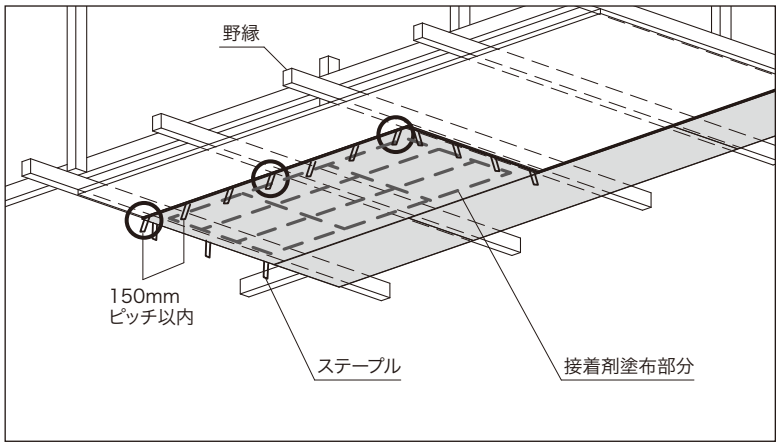
以降、同工程を繰り返し施工を進めていきます。

寸法単位:mm

5 2列目以降の取り付け

前工程と同様に接着剤を塗布し、すでに施工してある1列目パネルの長辺方向メスサネ部と、2列目1枚目のパネルメスサネ部に差し込みます。

長辺・短辺方向メスサネ部に、ステープルで固定してください。以降、同工程を繰り返し施工を進めていきます。



6 張り仕舞い

最終列のパネルを割り付けに従ってカットしてください。

前工程と同様に接着剤を塗布し、すでに施工してあるパネルの長辺方向メスサネ部にパネルオスサネ部を差し込み、壁際はステープルで固定してください。同工程で施工を進め、すべてのパネルを施工します。

※突き付け施工の場合は、フィニッシュネイルにて300mm ピッチ以内の間隔で固定してください。

■ 見切材を使用する場合

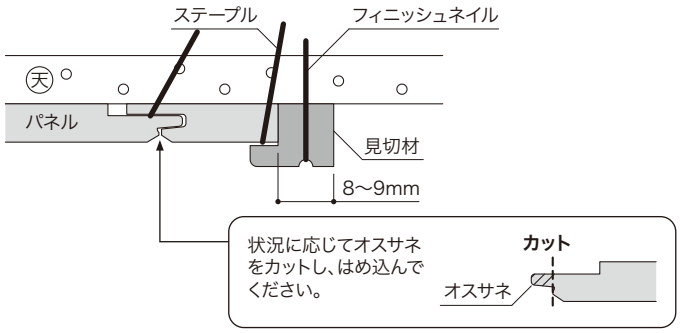
見切材は、接着剤とフィニッシュネイルを併用し施工を行なってください。フィニッシュネイルは300mmピッチ以内の間隔で打ち込んでください。
角部・端部の固定はフィニッシュネイルが端から20mm以内となるように打ち込んでください。接着剤がはみ出した場合は、湿った布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れなくなります。

■ 樹脂見切材を使用する場合

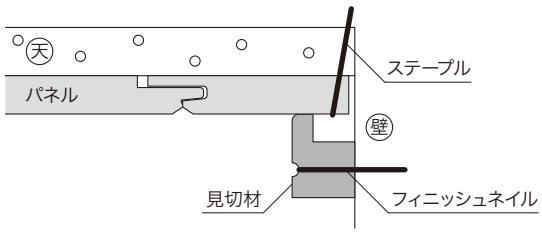
この製品は、クロス仕上げ前に取り付けを行なってください。樹脂見切材に酢ビ系接着剤を塗布し、ステープル、又はビスを450mmピッチ以内の間隔に打ち込んで固定してください。樹脂見切材の垂直部分にクロスパテ処理を施し、クロスを巻き込みます。

壁との納まりについて [断面図]

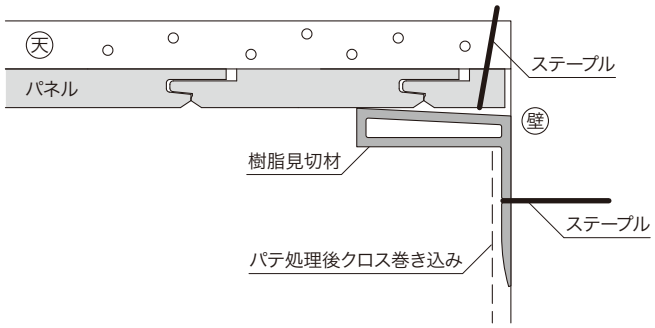
■ 見切材を使用する場合



■ 見切材を回縁として施工する場合



■ 樹脂見切材を使用する場合



6 養生・点検

●施工後、24時間以上静置してください。
●化粧面に強い粘着テープを貼らないようにしてください。
●引き渡し前に清掃を行ない、傷や汚れの付着が無いことを確認してください。
●取扱説明書を記載内容に従ってお施主様に説明し、お渡しください。